令和６（2024）年度

女性教育指導者研修第２回 実施報告

実施日：令和６（2024）年６月 27 日（木）

女性教育指導者研修の第２回研修は、午前に説明・演習「アンコンシャス・バイアスとは」「統計から読み取る男女共同参画の状況」を行い、午後に説明・演習「成人の学び・参加体験型学習とは」とグループ研究①「地域課題把握のための準備①」を行いました。

＊＊

説明・演習「アンコンシャス・バイアスとは」

アンコンシャス・バイアスについて理解を深めるために、その定義や様々な例について説明を受けた後、動画の視聴を通して、生活の中で見られるアンコンシャス・バイアスによる影響について考えました。

職場での上司が女性だった場合や、法事の席で女性の役割が固定されている場面、女性の将来を家族内で話し合う場面など、アンコンシャス・バイアスが生活にどのような影響を与えるのか、グループで熱心に話し合う姿が見られました。

＊＊

説明・演習「統計から読み取る男女共同参画の状況」

この説明・演習は、男女共同参画に関する様々な統計データから、男女共同参画に関する現状を理解し、課題に気付くことがねらいです。

令和６年６月に公表された GGGI（グローバル・ジェンダー・ギャップ指数）の結果は、日本が 156 か国中 118 位でした。GGGI とは、経済・政治・教育・健康の４つの分野での男女の格差を数値化しランク付けしたものです。特に日本では、教育や健康分野での男女の格差は少なくなりつつあるものの、女性の国会議員数や企業の女性管理職数など、指導的立場の女性の数が非常に少ないことが課題であるという傾向が見られます。

GGGI の結果のうち、数値の低い政治や経済に関する統計を読み取り、グループで話し合うことで、「日本の女性国会議員が、少しずつ増えているものの、諸外国と比べて低い一因は、クオータ制を導入していないことが考えられる。」「共働き世帯の増加に伴い、女性就業者の数は増えているが、諸外国や OECD 平均に比べて、日本は給与額の男女間格差が大きい。原因の一つとして考えられるのは、男女間で比較した際に家事や育児、介護を担っている女性の割合の方が多く、女性がパートなどの職業を選択しているからではないか。」などの気付きが見られました。

＊＊

説明・演習「成人の学び・参加体験型学習とは」

午前の研修を通して見えてきた男女共同参画に関する課題を振り返りながら、成人の学びの意義や成人の学びに適した「参加体験型学習」の手法の理解をねらいとした説明・演習が行われました。

社会の変化や様々な課題の増加に伴い、生涯を通した学び（生涯学習）の必要性が高まっていることや、成人の学びの特徴とそれに合わせた学習プログラムである参加体験型学習の方法と進め方、学習をスムーズに進めるための和やかな雰囲気づくりのための活動であるアイスブレイクの意義や様々な例などを説明しました。この時間のはじめにアイスブレイクの一つである「ギョウザジャンケン」の体験をしたことで、アイスブレイクの大切さが実感できたようです。この時間に学んだことを、グループごとに地域課題解決のための講座を考える際にも活用していただけたらと思います。

＊＊

グループ研究①「地域課題把握のための準備①」

第２回の最後の研修は、グループ研究の１回目として、班編成や役割分担、研究テーマの設定を行いました。グループ研究では、最終的に地域の課題解決に向けた講座の企画・立案を行います。次回の第３回研修のグループ研究で、研究方法の検討や資料収集の内容及び方法の検討と分担、フィールドワーク調査内容の検討、場所選定をしていきます。

＊＊

＜受講者の感想から＞

- 今までは無意識に行動していましたが、大人になっても意識的に行動し、学んでいくことの大切さに気付きました。
- 成人の学びはいつまでも続きます。社会が急激に変化していく中で、人間らしく生活するために無理なく他の人と共に情報などを共有することが大切だと思います。
- コミュニケーションと相互理解を通じた地域との関係強化を目指していきたいです。
- 私が学んだことを家族に、まわりの方にも伝えていきたいと思いました。また、興味のある課題が出た時には、一緒に考えていきたいと思いました。
- みんなで共有し、わかちあうことで理解が深まり、それをさらに行動にしていくことが大切だと気付きました。
- グループの仲間と情報を共有して、楽しく活動をしたいです。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206　　e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp